

第3学年 外国語科学習指導案

単元名 New Horizon English Course3  
Unit5 Starting Out  
友達と簡単な議論をしよう

日時 平成30年10月26日(金)  
場所 赤来中学校 美術室  
授業者 教諭 三島 理加  
ALT Daniel Wilkenson

1 単元の目標

「CAN-DO リスト」の形式による学習到達目標における位置付け  
話すこと－聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること



単元の目標

- ・相手意識をもって質問したり答えたりして、会話を続けようとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・身近な事柄について議論するために、相手に質問したり、事実や気持ちを伝え合ったりする。  
【外国語表現の能力】
- ・身近な事柄についての議論の内容を聞いたり読んだりして理解する。 【外国語理解の能力】
- ・現在分詞・過去分詞の後置修飾及び間接疑問文の構造を理解する。  
【言語や文化についての知識・理解】

2 学習の基盤

【単元観】

本単元では、私たちの生活の中に入ってきている様々なロボットたちの活躍ぶりを知り、将来ロボットと人間とでどのような暮らしが行われていくのか、ロボットが人間を助けてくれる面と機械であるがための不安な一面などについて議論が展開される。

本単元を通して、身近な生活の中にある事柄について、友達と議論する体験をさせることで、伝え合う力がさらに高まっていくことを期待している。

言語材料としては現在分詞・過去分詞の後置修飾、間接疑問文が本文に豊富に含まれている。対話や議論の内容に注意を向けながら、これらの言語材料の用法も習得させたい。

【生徒観】

<個人情報保護のため省略>



【指導観】

本単元でめざす生徒の姿は、あるテーマについて、生徒が議論をする姿である。議論をするためには、テーマに対して、生徒が根拠をもって自分の意見を述べる力が必要である。また、コミュニケー

ションを円滑にするためには、相手の言ったことに反応したり、感想を述べたり、質問し合ったりすることが必要である。そこで、日常的に帯活動で Small Talk を行い、会話を続ける活動を行う。

また、本文の内容を使って、議論のイメージを持たせ、模擬的に議論を体験させたい。議論する内容の整理と会話の継続の2点に視点をあてて、ゴールの姿を実現させていきたい。

本時は、本単元の導入である。ALT とのデモンストレーションを通して、単元のゴール及び本時の学習のゴールを提示する。新出言語材料は一方的な文法説明にならないよう、生徒とのやり取りを通して文の構造を捉えさせていく。その後、ペアでの Small Talk を通して新出言語材料の定着をめざしていきたい。

定着に向けて、ICT 機器を積極的に活用していく。新出言語材料の意味や使い方を推測させる時、簡単な口頭練習をする時、文法事項のポイントを押さえる時に活用する。終末は一人一台のタブレットを使って理解の確認をする。

### 3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
相手意識をもって質問したり答えたりして、会話を続けようとしている。	身近な事柄について議論するために、相手に質問したり、事実や気持ちを伝え合うことができる。	身近な事柄についての議論の内容を聞いたり読んだりして理解することができる。	現在分詞・過去分詞の後置修飾及び間接疑問文の構造を理解している。

### 4 指導と評価の展開計画（全8時間 本時1/8）

	○ねらい ・主な学習活動	主な評価規準			
		ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
1 本時	○現在分詞の後置修飾の構造を理解し、それをを用いて会話を続けようとする。 ・現在分詞の後置修飾が使われている会話を聞いて内容を推測する。 ・電子黒板を見ながら口頭練習をする。 ・現在分詞の後置修飾を用いた表現を取り入れて Small Talk をする。	①現在分詞の後置修飾を用いて自分が興味をもっている人について、友達と会話を続けようとしている。			①現在分詞の後置修飾の構造について理解している。

2	<p>○過去分詞の後置修飾の構造を理解し、それをういて会話を続けようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去分詞の後置修飾が使われている会話を聞いて、内容を推測する。(本文p70)</li> <li>・電子黒板を見ながら口頭練習をする。</li> <li>・過去分詞の後置修飾を用いた表現を取り入れてSmall Talkをする。</li> </ul>	<p>②過去分詞の後置修飾を用いて自分の持っているものについて会話を続けようとしている。</p>			<p>②過去分詞の後置修飾の構造について理解している。</p>
3	<p>○間接疑問文の構造を理解し、それをういて会話を続けようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間接疑問文が使われている会話を聞いて内容を推測する。</li> <li>・電子黒板を見ながら口頭練習をする。</li> <li>・間接疑問文を用いた表現を取り入れてSmall Talkをする。</li> </ul>	<p>③間接疑問文を用いて、自分が探している先生の居場所や戻る時間などを質問したり、答えたりして友達と会話を続けようとしている。</p>			<p>③間接疑問文の構造について理解している。</p>
4	<p>○間接疑問文を含む会話を聞いたり読んだりして本文の内容を理解する。</p> <p>○本文の内容について自分の考えを加えて友達と伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の会話を聞いたり、読んだりして内容を推測する。</li> <li>・本文の内容をベースにreactionや「+1質問」を加えて友達とやり取りをする。</li> </ul>		<p>①本文の内容について自分の考えを加えて友達と伝え合うことができる。</p>	<p>①間接疑問文を含む会話を聞いたり読んだりして本文内容を理解できる。</p>	
5 6	<p>○ロボットについて議論されている内容について要約する。</p> <p>○ロボットについて自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人の主張の概要を要約する。</li> <li>・4人のうちだれの意見に賛成か理由も含めて考える。</li> </ul>		<p>②ロボットについて自分の考えをまとめることができる。</p>	<p>②ロボットについて議論されている内容について要約できる。</p>	

7	○ロボットについて自分の考えを伝え合う。 ・4人の主張の要約を基に、だれの意見に賛成するか理由を含めて伝え合う。		③ロボットについて自分の考えを伝え合うことができる。		
8	○相手に伝わるように質問したり答えたりして、会話を続けようとする。 ○身近な事柄について自分の考えを伝えたり相手の意見を受けたりしながら議論する。 ・～のテーマについて自分の考えをまとめて友達と伝え合う。(議論)	④相手に伝わるように質問したり答えたりして会話を続けようとしている。	④身近な事柄について自分の考えを伝えたり、相手の意見を受けたりしながら議論できる。		

## 5 本時の学習

### (1)ねらい

- ・現在分詞の後置修飾を用いて、自分が興味をもっている人について、友達と会話を続けようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・現在分詞の後置修飾の構造について理解する。(言語や文化についての知識・理解)

### (2)展開

時間	生徒の学習活動	教師の活動(・)と支援(☆)		評価
		JTE	ALT	
	あいさつ	あいさつと簡単な会話をして学習の雰囲気を作る		
	<1. 帯活動> ・ Small Talk のトピックを知る  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             If Doraemon comes to your house, "What item do you want to use?"           </div> ・ ペアでトピックについて会話を始める	☆トピックを理解しやすいように写真を使う ・ Small Talk のトピックを提示する  ・ 本時の学習に向かいやすいように、JTE と ALT でドラえもんの道具についての会話をデモンストレーションする ☆活動が進みにくいペアを支援する ・ 活動後、英語にしづらい表現がなかったか確認する		
	<2. 単元のゴールを確認> ・ 会話を聞き内容を推測する  ・ 考えを発表する	・ 本単元のゴールイメージをもつことができるように、JTE と ALT がデモンストレーションをする (制服に関する意見交換・簡単な議論をする) ・ 会話の内容を確認		

<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のゴールイメージをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元のゴールイメージを示す</li> </ul>	
単元のゴール：あるテーマについて、簡単な議論ができる		
<p>&lt;3. 本時のゴールを確認&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話に出てきた重要表現の意味を考える</li> <li>電子黒板の写真を見ながら、会話を聞き、内容を推測する</li> <li>考えを発表する</li> <li>現在分詞の後置修飾の意味や使い方に気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のゴールイメージをもつことができるように、JTEとALTは前述のデモンストレーションの重要な部分(後置修飾が含まれている英語表現)を再度会話してみせる</li> <li>写真を4～5枚見せ、生徒とやりとりをしながら、新出表現の意味や使い方を推測させる</li> <li>合わせて口頭練習もする</li> <li>☆ポイントを視覚的に捉えられるように、写真と英文を表示する</li> <li>口頭練習した英文を再度電子黒板に映し出し、ポイントに気づかせる</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>The boy <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">wearing</span> a school uniform is my son.          The man <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">wearing</span> a striped T-shirt is Mr. Morita.          The girl <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">holding</span> purple flowers is Ms. Kuwabara.          The boy <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">standing</span> on the left is Mr. Tanabe.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のゴールイメージをもつ</li> <li>現在分詞の後置修飾を使って、自分の好きな人について相手に伝える活動をすることを伝える(本時のゴール提示)</li> </ul>	
本時のゴール：～ing を使って、自分の好きな人のことについて友達と長く会話をしよう		
<p>&lt;4. 言語活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動の説明を聞く</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話を続けるために工夫できることを考える</li> <li>まず教員のデモンストレーションを聞き、活動のイメージをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の説明をする</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;活動のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Small Talk を3 回行う (2 分×3 回)</li> <li>トピックは Talk about your favorite person 配られた写真の人について説明し会話を続ける</li> <li>1～2 回目は同じ写真を使って会話をする</li> <li>3 回目はどの写真を使ってもよい。</li> <li>必ず「the man(woman) ～ing ----」を使う</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話を続けるために工夫できることを確認する (反応したり、感想を言ったり、質問したりすること)</li> <li>JTEとALTがデモンストレーションをする (今日のねらいとなる言語材料が、会話の中でどのように使われているかを捉えさせる)</li> </ul>	

